

平成 24 年度

事業報告書



公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針	1
定款事業別体系図	2
事業区分別事業報告	4
公社概要	29
組織図	29

公社経営方針

平成21年10月1日に「公益財団法人足立区生涯学習振興公社」が誕生し、当公社は新たな歴史を歩むこととなった。

当公社は、公益法人として、足立区民の文化及びスポーツ並びに学習の体験や機会を提供するとともに、自主活動を支援する事業を行い、生涯学習を推進し、人材の育成を図り、生き生きとした地域社会の創造に寄与することを目的としている。

平成24年度は、長引く不況による基本財産運用利息収入の低下や自動販売機設置事業の段階的な区への移管などにより、自主財源が減収見込みであり、公社自主事業を実施する上では厳しい状況となっている。今後しばらくは、こうした状況が続くものと考えなければならない。

こうした中、平成24年度の事業計画及び予算編成にあたっては、足立区から受託する「放課後子ども教室支援」事業を核として継続するとともに、地域での文化・スポーツ・学習活動のコーディネートをより地域の実情にあわせ実施することで相乗効果を生み出し、公社の持つ経営資源の効果的な活用により、「生き生きとした地域社会」を築くことを目標にした事業展開を図って行く。

事業の実施、予算執行にあたっては、より一層効率的で的確な運営を図ることにより、事業の実施効果を上げ、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

① あだち放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む。

「あだち放課後子ども教室の運営支援・拡充」を引き続き公社の中核的事業として位置づける。24年度は、全71校での放課後子ども教室の安定した運営のための支援を第一に、将来目標とする週5日、全学年での実施に向け、地域や学校の実情を踏まえつつ、実行委員会・学校との協議を進め、段階的な拡大の検討など、その協力を求めていく。

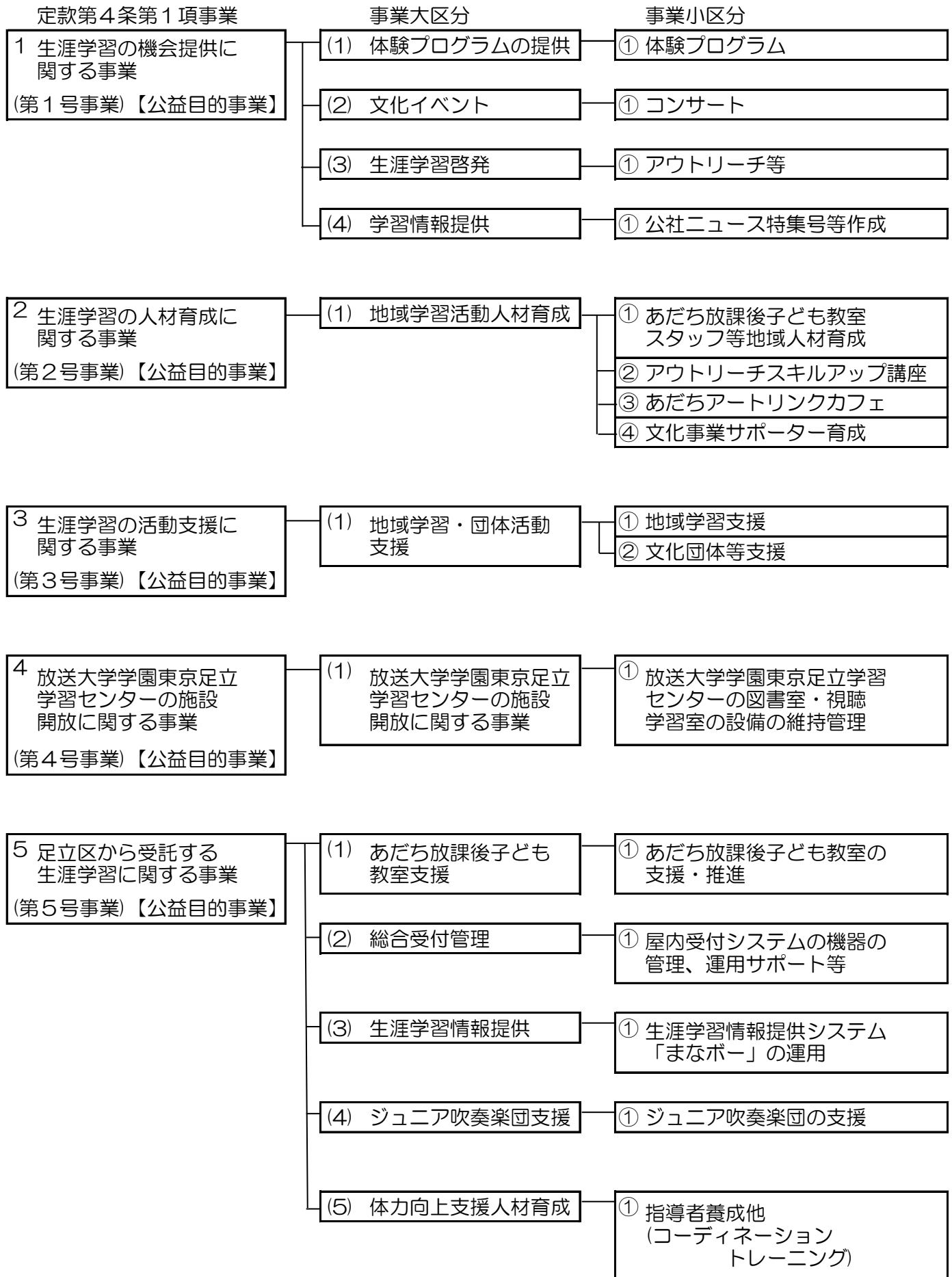
② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供する。

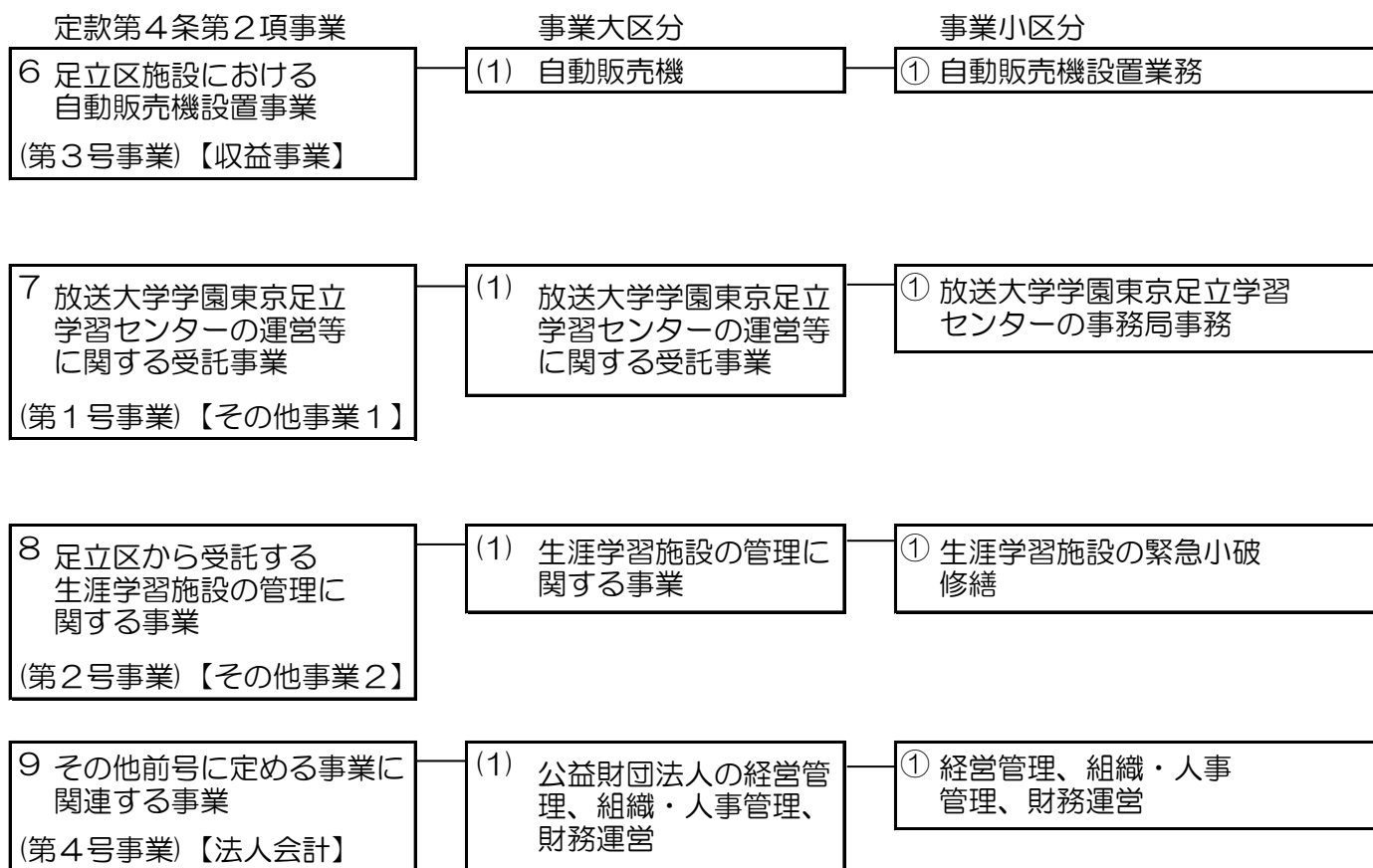
公社自主財源を効果的に投入し、体験プログラムなどの学習機会を提供する。昨年に続き、ホール中心型の文化事業からオール足立をステージとした地域中心型の文化事業を展開する。文化芸術が単なる自己実現のための手段や余暇の楽しみだけではなく、様々な地域課題を解決し人々を幸福へと導く重要なツールとしてとらえ、文化芸術の力で地域の持つ潜在能力の向上を図っていく。

③ 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

法令及び公益認定基準を遵守し、ガバナンス(内部統治)等に適合した法人運営を行う。

平成24年度 定款事業別体系図





事業区分別事業報告

1 生涯学習の機会提供に関する事業 (定款第4条第1項第1号事業) 【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供			予算現額
			941 千円
目的	地域学習センターや学校施設等を利用し、学習・スポーツ等の体験活動の場を提供する。プログラムの講師には区内の人材を活用し、子どもから高齢者まで幅広い対象者の学習啓発の機会とする。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
読み語りキャラバン 落語ワークショップ コーディネーション体験 等	通年	20 回	地域学習センター、 各学校等
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			498 千円
実施概要	<p>学習・スポーツ体験の機会提供として、区内小学校の開かれた学校づくり協議会と連携し、土曜事業等で、「落語ワークショップ」や「ロープスキッピング」などのプログラムを実施した。</p> <p>落語ワークショップでは、区内在住の落語家を講師に、落語を聴くための想像力の大切さや、落語の所作について、親子で学ぶ講座を実施した。また、なわとびシーズンに合わせ、ロープスキッピング教室を3会場で実施し、プロパフォーマーの技を間近で見た後に、なわとび上達法やおもしろ跳びなどの指導を受け、なわとびの楽しさを体験した。そのほか、読み語り人材育成事業の修了者を、新たなメンバーとして加えた「読み語りキャラバン隊」が、演目のレパートリーを広げながら、地域センター等でのスペシャルお話を展開した。</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
読み語りキャラバン 【6/12、8/8、11/18、12/12、1/23】	308 人	5 回	生涯学習センター、 中央図書館、 花畑地域学習センター、 江北地域学習センター、 新田地域学習センター
落語ワークショップ 【9/29、10/20、11/24、12/8・15】	275 人	5 回	千寿常東小、 中川東小、皿沼小、 中島根小、伊興小
コーディネーショントレーニング体験 【12/22、2/16】	34 人	2 回	竹の塚第三団地 集会室、栗原北小
ロープスキッピング【11/10、12/8】	518 人	3 回	青井小、弘道小、 竹の塚小
小計	1,135 人	15 回	

(2) 文化イベント			予算現額
			9,141 千円
目的	優れた舞台芸術や古典芸能の鑑賞機会を区民の方に提供する。また、地域のアーティストによる演奏の鑑賞機会を提供することにより、多くの区民の方が身近に文化芸術に親しみ、社会の潜在能力の向上と文化芸術の薫り高い心豊かな地域社会の実現に寄与する。さらに、公社がオーディションを経て発掘、育成した区内の演奏家による自主的音楽団体であるブリランテに、区の文化芸術振興のため、演奏会の開催を委託する。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち天空名人会	通年	2 回	天空劇場
コンサート	通年	2 回	天空劇場他
マイタウンコンサート	通年	3 回	区内
ブリランテコンサート	通年	2 回	区内
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			執行額
			3,994 千円
実施概要	<p>春風亭小朝独演会では、古典落語の名作の熱演に、満員の来場者は存分に楽しんでいた。</p> <p>子ども向けミュージカル「3びきのこぶた」では、出演者(狼)の問いかけに真剣に応えるなど、物語の世界に引き込まれた子どもたちが夢中になって鑑賞していた。</p> <p>マイタウンコンサートは、蛍の鑑賞時期および光の祭典開催時に生物園で、9月の足立区音楽祭および桜の開花時期に都市農業公園で実施した。いずれも、区内在住のプロのアーティストを中心として、ラテンジャズ、邦楽、およびクラシックの演奏を行い、公演も満員で、区民の潜在的な求めに応えると共に事業目的を効果的に達成した。</p> <p>ブリランテは、小規模な演奏活動を自主的に行った。</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
春風亭小朝独演会【9/17】	370 人	1 回	天空劇場
こどものための名作ミュージカル「3びきのこぶた」【12/25】	554 人	2 回	竹の塚地域学習センターホール
マイタウンコンサート【5/12、9/9、12/8、3/27】	1,593 人	4 回	生物園、都市農業公園
小計	2,517 人	7 回	

(3) 生涯学習啓発			予算現額
			1,900 千円
目的	<p>区内の福祉施設や小学校で様々な文化事業を行い、生の演奏や古典芸能を間近で体験できる場を創出する。文化芸術に触れる機会の少ない、または無関心であるといった区民層を、文化芸術の支持層へと変えていくため、ホール等での「待ち」の事業から、地域への「攻め」の事業を展開する。子どもたちへの働きかけにはプロのアーティストを起用し、本物の芸術を早い時点で体験させ、感性を養い人間力の向上を図る。また、SPCオリジナルソング「このまち」が区内で広く親しまれ愛唱されるよう周知活動を継続する。</p>		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
ふれあいコンサート	通年	4 回	障がい者施設等
ふれあい出前寄席	通年	4 回	高齢者福祉施設等
小学校アウトリーチコンサート	通年	4 回	区内小学校
SPCオリジナルソング「このまち」周知	通年	1 回	区内
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			1,430 千円
実施概要	<p>ふれあいコンサートは区内在住、出身の演奏家により、障がい者福祉施設4施設で実施した。ふれあい出前寄席は区内在住の落語家、太神楽師により、高齢者福祉施設で実施した。両事業とも参加者にできる範囲で責任を伴う役割(看板作り、司会、終演の挨拶など)を担っていただき、他者に貢献する喜びやリハビリへのモチベーション向上などにつながった。</p> <p>小学校アウトリーチコンサートは、1年生が社会性を身につけ始める年度後期からサントリーホール室内楽アカデミー所属の演奏家による弦楽四重奏、ピアノ四重奏で実施した。終演後給食を共にするなど、児童と演奏家の交流も図った。後日のヒアリングでは学校から事業に対して高い評価をいただいた。</p> <p>SPCオリジナルソング「このまち」の周知については、公社ニュース「ときめき」へ記事を掲載し、演奏していただける団体へCDと合唱譜を配布しており、今後も引き続き取り組んでいく。</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
ふれあいコンサート【6/5、10/15、1/30、2/21】	471 人	4 回	綾瀬あかしあ園、綾瀬ひまわり園、谷在家福祉園、神明福祉園
ふれあい出前寄席【5/31、7/20、9/27、11/12】	283 人	4 回	ゆうあいの郷六月、伊興園、紫磨園、プレミアム扇
小学校アウトリーチコンサート【10/22、12/11、1/17・24】	246 人	8 回	北三谷小、花畑西小、花畑第一小、舎人小
スチューデントプロデュースコンサート(SPC)オリジナルCD宣伝【通年】		1 回	文化活動支援課
小計	1,000 人	17 回	

(4) 学習情報提供			予算現額
			10,700 千円
目 的	<p>毎月発行の公社ニュース「ときめき」では、「公社事業や生涯学習情報」を、特集号(年1回)では、特徴的な取り組みやイベントなどを区民の方へ発信する。また、区民の方の自主的な学習活動を促進するため、地域学習センターやスポーツ施設などで開催する生涯学習事業の情報収集を行い、区民の方に向けて情報提供を行う。公社ホームページでは、公社の概要や事業案内などの情報を発信し、公社を広くPRする。</p>		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信	毎月1回	12 回	区内全戸配布他 (300,000部)
公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集)	不定期	1 回	
公社ホームページによる情報提供	随時		
公社事業案内用パンフレットの編集・発行	不定期	1 回	
区「あだち広報」への講座情報の編集	毎月1回	12 回	
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			9,892 千円
実施概要	<p>公社ニュース「ときめき」では、毎月、自主事業(文化事業、学習・スポーツ事業、放送大学)の周知や募集記事、あだち放課後子ども教室のコラム等を掲載(1.5頁/月)し、11月には「子どもたちの成長や学びを支える人々」をテーマとした特集号を作成、「ときめき」通常号と併せて区内全戸配布を行った。また、公社ホームページの更新回数を増やし、公社の事業案内などの情報をタイムリーに発信し、公社を広くPRした。「あだち放課後子ども教室」パンフレットとして「笑顔いっぱい楽しい放課後」改訂版を作成した。さらに、区「あだち広報」に掲載する各生涯学習施設・スポーツ施設などの講座・イベントの募集記事作成・編集作業を行った。</p>		
実 施 内 容	実施時期	実施回数	実施場所
公社ニュース「ときめき」への自主事業情報発信	毎月1回	12 回	区内全戸配布他 (約310,000部/回)
公社ニュース「ときめき」特集号の編集・発行 (公社事業特集)	11月	1 回	
公社ホームページによる情報提供	随時		
公社事業案内用パンフレットの編集・発行	3月	1 回	
区「あだち広報」への講座情報(地域学習センター等の講座)の編集	毎月1回	12 回	

2 生涯学習の人材育成に関する事業
 (定款第4条第1項第2号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成		予算現額	
		1,476 千円	
		執行額	
		932 千円	
①あだち放課後子ども教室スタッフ等地域人材育成			
目的	「あだち放課後子ども教室事業」を円滑に運営するため、スタッフに危機管理や、より専門的な知識、技術のスキルアップを目的に研修の場を提供し、地域人材を育成する。また、育成された地域人材が活動しやすいよう体験交流活動会を開催するなどの支援をしていく。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修 (遊びのヒント[室内編]等)	通年	6 回	地域学習センター、 各学校等
あだち放課後子ども教室全体講習会	9月	1 回	
地域活動啓発・向上講座	通年	4 回	
あだちこどもサポーター養成講座	通年	4 回	
サポーターネットワーク支援	通年		

24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容

実施概要

《あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修》

安全管理スタッフや実行委員を対象に、「現場で役立つケガの対応」、「子どもの接し方」、「現場で役立つ遊具の工夫」などをテーマに、具体的な解決方法や対応について、実技を交えて実施した。

《あだち放課後子ども教室全体講習会》

実行委員、スタッフ、一般区民を対象に、事業への期待や学びについて、区教育委員、和田成夫氏(東京電機大学教授)に講演いただいた。

《地域活動啓発・向上講座》

子どもに関わる活動に携わっている方や保護者を対象に、子どもの心の発達段階に応じて起きる悩みや問題行動について、理解を深め対処する方法を学ぶ講座を実施した。上半期には、平成22年度の「幼児期編」の開講以来、小学校「低学年編」「高学年編」と開講し好評をいただいている、“心のサインに気づくには”の「思春期編」を開催した。

下半期は、「子ども同士の世界をのぞく」と題した“子ども学講座”を実施した。今回は、いじめが起これるメカニズムについて学び、いじめの当事者・傍観者の気持ちを理解するワークショップを体験し、周りの大人に出来ること、子どもの話を聞く力について考える講座となった。

《あだちこどもサポーター養成講座》

子どもと関わる活動を行っている方、または活動を行いたいという方を対象に、実践的なスキル習得を目的とした講座を実施した。「おりがみサポーター養成講座」では、子どもの目線や接し方について学び、放課後子ども教室の会場で子どもたちと一緒におりがみを折る実習を体験した。修了後、希望する方には、放課後子ども教室で「おりがみサポーター」として活動できるよう調整・支援を行なっている。また、「読み語りのためのボイストレーニング」では、講座最終日に「おはなし会実習」を組込み、子どもたちを前にしての実演を体験するプログラムとしている。この体験により、その後の活動への意識も高まり、「読み語りキャラバン隊」への参加に繋がっている。

《サポーターネットワーク支援》

おりがみサポーターとして活動している方々の、情報交換や技術向上を支援するため、サポーターの交流会を開催した。現在、11校の放課後子ども教室で、月一回程度、子どもたちと一緒におりがみを折る活動を行っている。それぞれの活動内容の工夫や特色などを相互に発表し合い、子どもとの接し方などのヒントを共有する機会となった。

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室スタッフスキルアップ研修			
「現場で役立つケガの対応」【10/18、11/9】	64人	2回	生涯学習センター、 教育相談センター
「子どもの接し方」【10/23、11/21】	141人	2回	生涯学習センター、 教育相談センター
「現場で役立つ遊具の工夫」【1/17、1/28】	103人	2回	生涯学習センター、 教育相談センター
あだち放課後子ども教室全体講習会 「子どもの健やかな成長を支える 『放課後こども教室』」【10/4】	165人	1回	庁舎ホール

地域活動啓発・向上講座			
「中高生の発達段階の理解と対応」 ～心のサインに気づくには・思春期編～【8/7】	65 人	1 回	生涯学習センター
「子ども学講座(子どもの事を考える大人の勉強会)」 ～子ども同士の世界をのぞく～【12/3・17】	69 人	2 回	生涯学習センター
あだちこどもサポーター養成講座			
「読み語りのためのボイストレーニング」 【5/15・22・29、6/5・12】	92 人	5 回	生涯学習センター
「ボイストレーニング フォロー講習」【8/2】	9 人	1 回	生涯学習センター
「読み語りのためのボイストレーニング体験講座」 【9/23】	64 人	1 回	生涯学習センター
「子どもと遊ぶ おりがみ教室」(第5期) 【9/26、10/3・10・17・24】	113 人	5 回	生涯学習センター
サポーターフォロー講習 (おりがみサポーター第4期修了者) 【10/10】	7 人	1 回	生涯学習センター
おりがみサポーターレベルアップ講座 【11/14・21】	50 人	2 回	生涯学習センター
放課後子ども教室「おりがみサポーター活動」 【4月～3月】	316 人	85 回	千寿第五小、中川北小、 中島根小、西保木間小、 舎人第一小、竹の塚小、 千寿第八小、千寿桜小、 梅島第一小、鹿浜第一小、 千寿常東小
「キッズあそびサポーター」【7/2】	28 人	1 回	生涯学習センター
「キッズあそびサポーター」②【2/7・14】	25 人	2 回	生涯学習センター
サポーターネットワーク支援			
おりがみサポーター交流会【6/20】	24 人	1 回	生涯学習センター
おりがみサポーター交流会②【2/6】	22 人	1 回	生涯学習センター
小計	1,357 人	115 回	

②アウトリーチスキルアップ講座			
目的	自主的な活動を行なっている区内の演奏家を対象に、アウトリーチ(芸術普及活動)の技術向上を図るために、アートマネジメントの専門家およびプロの演奏家によるスキルアップ講座を開催する。ここで学ぶことは演奏技術ではなく、対象者とのコミュニケーション能力、文化芸術を効果的に伝える能力の向上である。地域の演奏家がこれらの技術を向上させることは、地域の文化の潜在能力の向上に直接つながっていく。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
アウトリーチスキルアップ講座	11月	1回	区内
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			
実施概要	<p>日本におけるアウトリーチ活動の第一人者とアウトリーチに定評と実績のあるプロのピアニストを講師に、プロもしくはプロを目指す地域の演奏家を対象に、講座を実施した。</p> <p>芸術普及活動に意欲と技術を兼ね備えた地域の演奏家と公社が出会えたことが大きな成果であり、今後は講座修了者の演奏家を公社アウトリーチ事業に登用していきたい。</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
アウトリーチ・スキルアップ講座Vol.1 【3/23、24】	14人	2回	梅田地域学習センター
小計	14人	2回	

③あだちアートリンクカフェ			
目 的	主として足立区で「アート」にかかわる区民を対象に、様々な立場や役割を超えて、相互の情報交換と交流を行う。異文化が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興および向上に寄与する。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
あだちアートリンクカフェ	通年	10回	東京芸術センター他
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			
実施概要	<p>当事業の参加者からは、多岐にわたる分野で活動するゲストスピーカーの発表と他の参加者との交流から、多くの示唆を受け、参加者自身の活動の可能性と新たな展開が期待されるとの評価を受けている。当事業は出会いや交流の場から新たな地域文化が生み出される場となりつつある。</p> <p>今年度各回のゲストスピーカーとテーマは下記のとおり。</p> <p>第8回白石光隆氏(ピアニスト)「ピアノをとおしてみた西洋」</p> <p>第9回箕口一美氏(サントリーホールプログラミングディレクター)「サントリーホール ENJOY!MUSICプログラム」</p> <p>第10回大前恵子氏(声楽家)「みちかできがるにクラシック～足立区から気仙沼の空へ～」</p> <p>第11回鏡味仙三氏(太神楽師)「幸せを呼ぶ太神楽」</p> <p>第12回森隆一郎氏(東京文化発信プロジェクト室広報調整担当課長)「東京クリエイティブ・ウィークスって？」</p> <p>第13回志田明子氏(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団楽団長)「東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と地域のつながり」</p> <p>第14回舟橋左斗子氏(シティプロモーション課シティセールス担当係長)「外から見る千住、内から見る千住～ふつうまち千住の魅力～」</p> <p>第15回山下光治氏・山下芳子氏(足立区演劇連盟)「狂言力とは？なぜ今狂言？」</p> <p>第16回新春スペシャル企画「アートリンクカフェ初夢大新年会」</p> <p>第17回櫻井あゆみ氏(NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク)「ホールの内でも外でも音楽を！～アートNPOの社会的役割とその仕事」</p> <p>第18回渡辺和氏(音楽ジャーナリスト)「身近な政治と音楽」</p>		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
あだちアートリンクカフェ 【4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、 10/26、11/22、1/25、2/22、3/22】	258人	11回	東京芸術センター 会議室
小計	258人	11回	

④文化事業サポーター育成			
目 的	これまでホールサポーターとして育成してきた人材に、今後の文化事業にも協力を依頼し、文化ボランティアとして発展拡充させていく。これにより、地域の文化芸術を担う人材の拡大はもとより、公益事業に貢献することによる区民の方の自己実現や生きがい作りの場となることが期待される。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
文化事業サポーターによる活動 地域での文化事業宣伝活動 文化事業運営協力 文化事業企画提案 文化事業サポーター会議、研修	通年		区内各所
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			
実施概要	歓喜の演Vol.12前期成果発表会、春風亭小朝独演会およびこどものための名作ミュージカル「3びきのこぶた」(1日2回公演)において、会場案内、受付等の業務に協力をいただいた。また、公演準備作業としてチラシ折込等の作業にも協力いただいた。参加者の意識は高く、事業協力の機会を通じて参加者相互の交流と、文化事業に貢献する意欲を持った区民と公社との信頼関係を強化できた。		
実 施 内 容	延参加者数	実施回数	実施場所
文化事業運営協力 【8/26、9/14・17、12/18・25】	30 人	6 回	庁舎ホール、 文化活動支援課、 天空劇場、 竹の塚地域学習センター ホール
小計	30 人	6 回	

3 生涯学習の活動支援に関する事業
 (定款第4条第1項第3号事業) 【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援		予算現額	
		1,447 千円	
		執行額	
		853 千円	
①地域学習支援			
目的	公社の事業ノウハウとネットワークを活用した事業コーディネートを通じて、区民の方が地域課題や現代的課題について主体的に考え学びあう機会を創出する。学習テーマの設定・講師の選定においては、それぞれの分野において専門性に優れた関係機関と連携を推進し、区民の方の学習活動の充実を図っていく。		
24年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
スポーツ推進委員会との連携事業	通年	3 回	区内各小学校
学校図書ボランティアとの連携事業	通年	4 回	区内各小学校
大学等各種機関との連携講座	通年	10 回	区内各所
地域学習コーディネート	通年		区内各所

24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容

実施概要

スポーツ推進委員会との連携は、体力向上を図るため「ドッチビー」体験を行い、また学校図書ボランティアとの連携では、読書啓発を図るため「読み語り」を実施した。

さらに区民の学習機会の拡充やその支援を行うため、各種団体や連携機関と連携事業として、東京未来大学との連携では、今年度から新たに、社会生活に密着したテーマを取り上げる「くらしに役立つ心理学シリーズ」をスタートさせた。シリーズ初回は、東京未来大学に新設された「モチベーション行動科学部」学部長による「～意欲・やる気のサイエンス～」と題した講座を開講、シリーズ2では学長を講師に招いて「コミュニケーションの心理学」についての講座を開催し、受講者からは大変好評を得た。また、積極的に健康増進を目指すため、カラダの科学を学習する「あだちウェルネスカレッジ」は、フィットネス分野の専門機関と連携し、興味・関心度の高いテーマを採り上げた。今年度は「体幹」「肩甲骨」をテーマに、解剖学的な仕組みと重要性を学び、効果的なエクササイズの方法について紹介を行った。スポーツ実践者に向けては、「スポーツコンディショニング講座」を開催して、スポーツ活動に不可欠なコンディショニングづくりの基礎理論について学習する機会を提供した。昨年度に引き続き、放課後子ども教室での学習・スポーツ活動として、日本将棋連盟との連携では将棋教室を通年開催や「おもちゃ講座」や「出張工作教室」を実施、さらに、高校生の奉仕体験活動では、延べ68人の学生が参加した。

地域学習コーディネートは、講座実施のアドバイスおよび講師紹介を行った。

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
スポーツ推進委員会との連携 【1/30、2/6】	36 人	2 回	千寿桜小
学校図書ボランティアとの連携 【7/2、10/17、12/18】	38 人	3 回	寺地小、 鹿浜第一小
大学等各種機関との連携講座 大学連携講座			
「西行・長明と清盛」～躍動する時代を拓いた三人～ (放送大学) 【6/16】	154 人	1 回	生涯学習センター
くらしに役立つ心理学シリーズ・1 「モチベーションの心理学」 ～意欲・やる気のサイエンス～ (東京未来大学) 【8/24・31、9/7】	184 人	3 回	生涯学習センター
くらしに役立つ心理学シリーズ・2 「コミュニケーションの心理学」 ～ポジティブな人間関係を気付くために～ (東京未来大学) 【10/26、11/2・9】	176 人	3 回	生涯学習センター
「食から考える健康」 ～ポリフェノールでアンチエイジング～ (放送大学) 【3/2】	71 人	1 回	生涯学習センター

各種機関連携講座			
「スポーツコンディショニング講座」 ～子どものスポーツ活動に関わる大人のための～ (NPOスポーツセーフティージャパン)【7/6】	15 人	1 回	生涯学習センター
「スポーツコンディショニング講座」② ～シニアジョガーのカラダづくり&メンテナンス～ (NPOスポーツセーフティージャパン)【3/2】	32 人	1 回	生涯学習センター
あだちウェルネスカレッジVol. 2 「体幹エクササイズで変わるカラダ・動き」【9/1】	52 人	1 回	生涯学習センター
あだちウェルネスカレッジVol. 3 「肩甲骨のコンディションで変わるカラダ・動き」 【2/9】	52 人	1 回	生涯学習センター
地域学習団体活動支援講座「将棋塾①」 【5/16・23、6/6・13・27、7/4・11・18、8/29、 9/12・19・26、10/3・17・31、11/7・14・21、 12/5・12・19、1/9・16・23、2/6・13・27、 3/3・13】	475 人	29 回	鹿浜第一小
地域学習団体活動支援講座「将棋塾②」 【5/16・23・30、6/6・13・20・27、7/4・11・ 18、8/29、9/5・12・19・26、10/3・17・ 24・31、11/7・14・21・28、12/5・12・19、 1/9・16・23・30、2/6・13・27、3/6】	423 人	34 回	桜花小
～ゆめ広場～(区青少年課) 【5/9・16、6/13・20、7/11・18、9/12・19、 10/10・17、11/14・21、12/12・19、 1/16・23、2/13・20、3/6・13】	834 人	20 回	五反野小、青井小、 伊興小、東栗原小、 桜花小、栗原北小、 弥生小、北鹿浜小、 千寿双葉小、扇小、 東綾瀬小、島根小、 花畑小、西伊興小、 辰沼小、千寿桜小、 江北小、花保小、 鹿浜第一小
シャボンおどりワークショップ (シティプロモーション課)【11/9・12・19】	45 人	3 回	千寿本町小
～おもちゃ講座～(イワヤ株)【6/25】	18 人	1 回	千寿桜小
～出張工作教室～ (株式会社東急ハンズ)【7/4、2/22】	75 人	2 回	竹の塚小、千寿小
都立高校生奉仕体験活動 足立工業高校【9、10月】	68 人	26 回	伊興小、上沼田小、 栗原北小、皿沼小、 鹿浜第一小、 西新井第二小
地域学習コーディネート【随時】		4 回	西新井みどり町会 婦人部等
小計	2,748 人	136 回	

②文化団体等支援

目 的

自主的な文化活動を行う区民の方や地域の芸術家および団体と演奏会等の公演を共催し、パートナーシップを持って共に新しい区民文化を創造していく。
また、地域からの企画相談窓口を設置し、地域の芸術家を活用することにより地域の文化振興に寄与する。

24年度の予定

内 容	実施時期	実施回数	実施場所
21世紀ADACHI芸術文化共同制作プロジェクト 歓喜の演Vol.12	通年	1回	竹の塚地域学習センター 他
足立区音楽祭	10月	1回	区内
ヤングアメリカンズアウトリーチ	3月	1回	シアター1010
イベントコーディネーター	通年		区内各所
足立シティオーケストラ定期演奏会	10月、3月	2回	区内
足立区民合唱団定期演奏会	8月、1月	2回	区内
足立吹奏楽団定期演奏会	6月、2月	2回	区内

24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容

実施概要

区民との協働事業である歓喜の演は、西新井文化ホールの工事休館中も、年間を通じた活動場所の確保と事務局としての支援を行った。足立区音楽祭は実行委員会会議へ参加し、事業運営についての助言、協力を行った。

ヤングアメリカンズアウトリーチツアーはNPO法人じぶん未来クラブからの申請により事業を共催し、広報等の協力による支援を行った。

イベントコーディネートでは、区地域文化課経由で新田図書館の周年事業、千寿第五小学校特別支援学級の音楽授業、梅田地区の開かれた学校づくり協議会の合同事業、東京労音より行事出演者について相談を受け、それぞれ助言、コーディネートを行った。

その他に足立吹奏楽団からの申請により定期演奏会を共催し、事業運営の支援を、足立ジュニア吹奏楽団の演奏会に伴う楽器運搬支援をそれぞれ行った。

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
歓喜の演Vol.11その2「合唱」【4/1】	1,200 人	1 回	越谷サティホール
歓喜の演Vol.12狂言錬成会 【4/27、6/22、7/27、10/19、12/21、3/29】	422 人	12 回	竹の塚地域学習センター ホール
歓喜の演Vol.12前期成果発表会【8/26】	302 人	1 回	庁舎ホール
第7回足立区音楽祭【9/3・15・23・29】	1,320 人	9 回	足立区役所アトリウム、 パサージュ西新井、 アリオ西新井、 庁舎ホール
ヤングアメリカンズアウトリーチ【3/8~10】	710 人	1 回	シアター1010
イベントコーディネート【随時】		4 回	新田図書館、 千寿第五小、 梅田地区開かれた 学校づくり協議会、 東京労音
足立吹奏楽団定期演奏会【5/20、12/9】	926 人	2 回	草加市文化会館、 シアター1010
足立ジュニア吹奏楽団楽器運搬支援【3/24】	51 人	1 回	足立区役所ホール
小計	4,931 人	31 回	

4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業
 (定款第4条第1項第4号事業) 【公益目的事業】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業			予算現額
			9,991 千円
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民の方が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。公社が同センターの図書室・視聴学習室の管理を受託し、公社職員が図書、映像資料整備と窓口業務を行なうとともに、図書室・視聴学習室を学生に限らず広く区民の方に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供することで学習機会の拡大を図る。		
24年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年	
	24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容		執行額
			7,392 千円
実施概要	図書室・視聴学習室の管理を行い学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の方に利用していただいた。また、放送大学視聴学習室を利用する区民のために、科学・文化等の一般教養に関する視聴覚資料の選定作業を行った。		
	実 施 内 容	実施時期	実施回数
	図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年	
			実施場所
			東京足立学習センター

5 足立区から受託する生涯学習に関する事業
 (定款第4条第1項第5号事業) 【公益目的事業】

(1) あだち放課後子ども教室支援		予算現額		
		241,395 千円		
目 的	区が推進する放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供する「あだち放課後子ども教室事業」を区から受託し、実行委員会による事業運営を支援するとともに、放課後により豊かな時間と空間を提供できるよう実施内容の拡充および環境整備を図る。そのためには、各学校に巡回し、運営上の指導を行うと共に謝金の支払いに関する諸事務を適切に執行する。			
24年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	あだち放課後子ども教室の運営支援	通年		区内各小学校
	あだち放課後子ども教室の実施内容の拡充	通年		区内各小学校
	安全管理講習会の実施(新任スタッフ向け含む)	通年	75 回	区内各小学校
	運営委員会支援	1月	1 回	生涯学習センター
	ブロック会議の開催	7月、11月	26 回	区内各小学校他

24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容		執行額		
		186,803 千円		
実施概要	<p>《運営支援・実施内容の拡充》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への巡回を1校あたり年間45回行った。拡充については、週5日開催を目指し、拡大に向け関係団体と調整し、週3日以上かつ2会場以上は68校、週5日開催は48校となった。 ・現場スタッフの協力をいただきながら、謝金や消耗品の清算等、適切な支払を行った。 <p>《安全管理講習会》</p> <p>新任スタッフ研修は、スタッフが正しく速やかにケガの手当が行えるよう対処の仕方を学ぶ必修講習で、今年度は4回実施した。フォローアップ研修はAEDの基礎知識やケガの対応など、応急手当に特化した講習会を夏休み前に全校実施した。</p> <p>《運営委員会》</p> <p>本年度は、学校教育部長の「講演」と代表2名による実行委員長らの出席による「パネルディスカッション」の2部構成で実施した。重点目標である「学習意欲を高める」をメインテーマとし、図書室の環境整備等を中心に協議した。</p> <p>《ブロック会議》</p> <p>小学校13ブロックごとに会議を開催している。上半期はスタッフリーダーおよびスタッフが出席し、各教室の実施状況や運営上の工夫、課題や解決策について、情報共有や意見交換、交流等を行った。下半期は実行委員長および学校長が出席し、放課後子ども教室の5つのねらい(「社会性や協調性を養う」「自分で考え行動する力を伸ばす」「運動能力や体力を高める」「生活リズムを整える」「学習意欲を高める」)について意見交換や今後の事業の方向性を協議した。</p>			
実施内容		延参加者数	実施回数	実施場所
あだち放課後子ども教室の運営支援(巡回1校あたり)			45回/年、週1回以上	
あだち放課後子ども教室の実施内容の拡充(平均開催日数)			3.8日(H24.3) → 4.5日(H25.3)	
安全管理スタッフフォローアップ講習会(応急手当) 【4/5・10・14・18・19・24・27(午前・午後)、 4/20(夜間)、5/9・10・15・17・18・21・22・24・ 30(午前)、5/17・18・21・22・23・25・29・ 30(午後)、5/14・25(夜間)、6/2・8・15・19・20・ 23・25・26・29(午前)、6/1・4・5・7・13・16・18・ 20・21・22・25・26・28・29(午後)、6/7・ 27(夜間)、7/2・7・9(午前)、7/3・4・18(午後)、 7/3(夜間)】		1,002 人	71 校	区内各小学校
安全管理新任講習会(応急処置) 【9/24、12/7、1/24、3/12】		116 人	4 回	子ども家庭支援センター、 生涯学習センター、 教育相談センター
運営委員会 【2/4】		101 人	1 回	生涯学習センター講堂
ブロック会議① 【7/3・4・10～13・17・18《同日開催あり》】		212 人	13 回	区内各小学校他
ブロック会議② 【11/8・9・12～15・19・20・26～29、12/4】		226 人	13 回	区内各小学校他
小計		1,657 人		

(2) 総合受付管理			予算現額
			105,135 千円
目的	区では生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている。公社は、この予約システムのインフラ、PC等の機器の管理および各受付窓口での学習室・体育館等の施設予約および講座受付の運用サポートを受託する。		
24年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
屋内受付システム 機器の管理（消耗品含む） アプリケーション運用サポート		通年	
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			執行額
			88,480 千円
実施概要	区から受託している予約システムのインフラ、PC等の機器の管理および利用情報案内の調整や学習室・体育館等の施設予約および講座受付等の各システムの運用サポートを実施した。		
実 施 内 容		実施時期	実施回数
屋内受付システム 機器の管理（消耗品含む） アプリケーション運用サポート		通年	

(3) 生涯学習情報提供			予算現額	
			7,664 千円	
目的	生涯学習に関する区内の各種情報(講座・施設・指導者・グループ等)を各生涯学習施設から集約し、インターネット上で検索できる「生涯学習情報提供システム」や、生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の施設最新情報を公開する「各施設ホームページ」の運用を受託する。「生涯学習情報提供システム」では、区民の方が求める情報および区民の方の関心や理解を深める特集を企画・公開し、区民の方の生涯学習への取り組みを推進する。			
24年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集2回含む)		毎月2回	24 回	
各施設ホームページによる情報提供		毎月1回	12 回	
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容				執行額
				7,498 千円
実施概要	区から受託している生涯学習情報提供システム「まなボー☆」の更新を月2回、「各施設ホームページ」の更新を月1回実施した。また、7月には特集企画として「一押し講座で『絆』を深めよう! 絆2012 Summer」と題し、夏休みに“地域との絆”、“友達同士の絆”、“家族・親子の絆”、“自然との絆”、“人と生き物の絆”など、様々なかたちで“絆”を深め、確かめることのできるイベント・講座情報を紹介した。そして、「夏を先取り最新情報! 2012夏休みプール・じゃぶじゃぶ池利用のご案内」を掲載し、夏休みに開設される区内の全プール・じゃぶじゃぶ池の利用案内・施設情報等をまとめてわかりやすく提供した。さらに、3月には、2回目の特集企画として「あなたの身近にもあるボランティア活動~春です。あなたも気軽にボランティアを始めてみませんか?~」と題し、地域学習センター等の身近な生涯学習施設で、春からすぐに始められるボランティア活動や気軽に参加できる養成講座等の情報提供を行った。			
実 施 内 容		実施時期	実施回数	実施場所
生涯学習情報提供システム「まなボー☆」企画更新 (特集2回含む)		毎月2回	24 回	
各施設ホームページによる情報提供		毎月1回	12 回	

(4) ジュニア吹奏楽団支援			予算現額
			4,929 千円
目的	足立区の音楽文化向上を図り、生涯にわたり音楽を愛好する情操豊かな児童を育成するジュニア吹奏楽団の支援事業を受託する。公社は、団体行動を通じ参加児童の健全育成を図るとともに、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、地域への音楽普及活動、音楽文化の裾野の拡大に貢献する。		
24年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
楽団および楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 指導者謝礼補助、楽器消耗品購入、通信運搬費補助	通年		練習(島根小学校)、定期演奏会(区内)、その他区内外での派遣演奏会場
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			4,840 千円
実施概要	楽団および楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進を行った。平成24年度の団員は51名。派遣演奏やイベント出演回数の増により、足立ジュニア吹奏楽団に対する区民の認知度が向上した。ギャラクシティオープニングイベントへの協力依頼や式典での演奏依頼など、楽団に対する区の期待度が高まった。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
楽団および楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進。 【随時】指導者謝礼補助、楽器等備品購入、楽譜等消耗品購入、通信運搬費補助			
定例練習	4,500 人	90 回	島根小学校音楽室他
楽団内活動			
・平成24年度入団式【4/7】	50 人	1 回	島根小学校
・夏合宿【8/18~20】	50 人	1 回	日光林間学園
派遣演奏・イベント出演			
・足立ジュニア吹奏楽団サマーコンサート inアリオ西新井【8/26】	600 人	2 回	アリオ西新井
・区民体育大会総合開会式、ｽｰｶﾞｰｺﾞｰﾙﾄﾞ【10/8】	1,000 人	2 回	総合スポーツセンター
・あだちプラスバンドフェスティバル2013【10/21】	1,580 人	1 回	足立区役所庁舎ホール
・親子3世代☆ジョイントコンサート【11/25】	383 人	1 回	島根小学校体育館
・足立ジュニア吹奏楽団X'masJazz-inアリオ西新井【12/8】	1,000 人	2 回	アリオ西新井
・島根小こどもクラブ餅つき大会【2/23】	200 人	1 回	島根小学校体育館
・足立ジュニア吹奏楽団第23回定期演奏会【3/24】	450 人	1 回	足立区役所庁舎ホール
・ギャラクシティリニューアルオープン式典演奏、イベント賛助出演【3/30】	80 人	1 回	ギャラクシティ
小計	9,893 人	103 回	

(5) 体力向上支援人材育成			予算現額
			334 千円
目的	区民の方の体力向上を図るため、楽しみながらからだの動きを良くする運動法「コーディネーショントレーニング」を指導できる人材を育成する。基本理論の習得に加え、指導者が運動指導の場で日常的に活用できるよう、実践的なスキルアップ研修を実施する。		
24年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
コーディネーショントレーニング指導者養成 (初心者講習会)	9月、2月	2回	総合ｽﾎﾟｰﾂ中心-他
コーディネーショントレーニング指導者スキルアップ (対象者別実践指導法)	通年	12回	
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			執行額
			297 千円
実施概要	コーディネーショントレーニングの普及に関わる人材の発掘・育成を図るため、地域スポーツ指導者や保育園・学校の体育に携わる方、指導者を目指す方などを対象に、コーディネーショントレーニングの基礎理論・実技の初級者向け講習会を行った。また、指導対象(幼児・小学生・一般高齢者)別に、実践指導に即したプログラムをワークショップで学ぶ、スキルアップコースを開催した。		
実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
コーディネーショントレーニング指導者講習会 (初級)【5/26】	36人	1回	総合スポーツセンター
(初級②)【12/8】	28人	1回	総合スポーツセンター
コーディネーショントレーニング指導者 スキルアップ講習会 (幼児編)【6/20～7/18】	109人	5回	生涯学習センター
(小学校低学年編①) 「器械運動につなげるコーディネーショントレーニング」 【8/3】	14人	1回	生涯学習センター
(小学校低学年編②) 「リズム能力を高めるコーディネーショントレーニング」 【8/25】	11人	1回	生涯学習センター
(小学校低学年編③) 「なわとびにつなげるコーディネーショントレーニング」 【11/2】	18人	1回	生涯学習センター
(小学校低学年編④) 「ボール操作を楽しむコーディネーショントレーニング」 【11/16】	12人	1回	生涯学習センター
(一般・高齢者編)【1/15、2/5】	22人	2回	生涯学習センター
小計	250人	13回	

【 1～5 公益目的事業に対する人件費 】

公益目的事業に対する人件費			予算現額
			264,564 千円
目的	定款第4条第1項事業:公益目的事業を実施する職員の人件費 (放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業分を除く)		
24年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
公益目的事業に従事する職員人件費	通年		
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			執行額
			253,889 千円
実施概要	公益目的事業を実施する職員の人件費の支出。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
公益目的事業に従事する職員人件費	随時		

6 足立区施設における自動販売機設置事業
(定款第4条第2項第3号事業) 【収益事業】

(1) 自動販売機			予算現額
			2,758 千円
目的	足立区施設を利用する区民の方の利便性を図るため、飲料等の自動販売機を設置する。施設使用については、足立区から必要な許可を受ける。自動販売機は業者が設置する。光熱水費を業者から実費相当分を徴収し、区に負担金として納付する。また、売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業費にあてる。		
24年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
自動販売機設置業務	通年		
24年度(H24.4.1～H25.3.31)実施内容			執行額
			2,443 千円
実施概要	自動販売機の設置について足立区から施設使用許可を受けた(自動販売機は業者が設置)。業者から光熱水費の実費相当分を徴収し、区に負担金として納付。売上の一部を手数料として徴収し、公益目的事業に使用する。		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
自動販売機設置業務	年間随時	年間随時	

7 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業
 (定款第4条第2項第1号事業) 【その他の事業1】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業			予算現額
			5,166 千円
目的	放送大学東京足立学習センターは、区民の方が身近で高等教育を受ける機会を提供するため誘致した施設である。生涯学習の推進を目的とする公社が同センターの総務的業務(公印の保管等の事務、職員の任用その他人事に関する事務、広報に関する事務など)を行っている。		
24年度の予定			
内 容		実施時期	実施回数
東京足立学習センターの事務局事務		通年	
広報に関する事務		通年	
面接授業に関する事務		通年	
単位認定試験の実施に関する事務		通年	
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			5,166 千円
実施概要	放送大学東京足立学習センターの第1学期4月入学から、学部および大学院の学生の受け入れを始め、面接事業および単位認定試験のサポートを実施。区民の学習機会の拡大を図ってきた。		
実 施 内 容		実施時期	実施回数
東京足立学習センターの事務局事務		年間随時	年間随時
広報に関する事務		年間随時	年間随時
面接授業に関する事務		年間随時	年間随時
単位認定試験の実施に関する事務		年間随時	年間随時

9 その他前号に定める事業に関連する事業
 (定款第4条第2項第4号事業) 【法人会計】

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営		予算現額	
		49,375 千円	
目的	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するため共通の庶務事務を実施する。また、自主事業を安定して継続するため、基本財産等の安全確実な資産運用を行う。		
24年度の予定			
内容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	通年		公社事務局
経理・契約システムの運営	通年		
基本財産等の管理および運用	通年		
理事会および評議員会の開催	5、11、2月		
24年度(H24.4.1~H25.3.31)実施内容			執行額
			38,238 千円
実施概要	<p>《職員等の給与システムの運営》 適切な職員給与支給を行った。</p> <p>《経理および契約システムの運営》 新会計基準に則った経理・契約システムにより、適切な執行管理を行った。</p> <p>《基本財産の運用》 満期償還された債券を、財産管理運用規程および要綱に則り預け替えを行った。</p> <p>《理事会および評議員会の開催》 5、6月は、平成23年度事業報告および決算の決議のため開催した。9月については、11月評議員会開催のための理事会の書面決議。11月は、平成24年度上半期の事業および収支状況報告のため開催した。12月には、2月評議員会開催のための理事会の書面決議。2月は、平成25年度事業計画および収支予算のため決議のため開催した。3月は、人事異動に伴う局長任免に伴う書面決議を行った。</p>		
実施内容	実施時期	実施回数	実施場所
職員等の給与システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
経理および契約システムの運営	年間随時	年間随時	公社事務局
基本財産等の管理および運用	年間随時	年間随時	公社事務局
理事会および評議員会の開催	5、6、9、11 12、2、3月	理事会7回 評議員会3回	公社事務局、 生涯学習センター研修室1

公社概要

		公益財団法人 足立区生涯学習振興公社
設立	平成 5年 2月 1日	(平成12年4月1日名称変更)
公益認定	平成21年10月 1日	公益財団法人
基本財産	15億円	
代表者	理事長 齋藤 幸枝	
職員数	50名(定数)	
	常勤30名(派遣6名、固有24名)	
	再任用1名 非常勤19名	
住所	〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21	
ホームページアドレス	http://www.kousya.jp/tokimeki/	

組織図

(決議機関)

評議員

(監査機関)

監事

(執行機関)

理事会 ——— 理事長 (代表理事) ——— 副理事長 (業務執行理事)

(事務局)

事務局長

総務部

企画総務課、企画調整担当課長(2)、経理課、
学習情報課

学習事業部

放課後子ども教室支援課、
放課後子ども教室推進担当課長(4)、
学習・スポーツ事業課、文化活動支援課